

第52回全国高等学校美術、工芸教育研究大会2015<福井大会>アンケート集計結果

回答者数 62人/238人中(回答率26%)

1

年代、性別をお尋ねします。

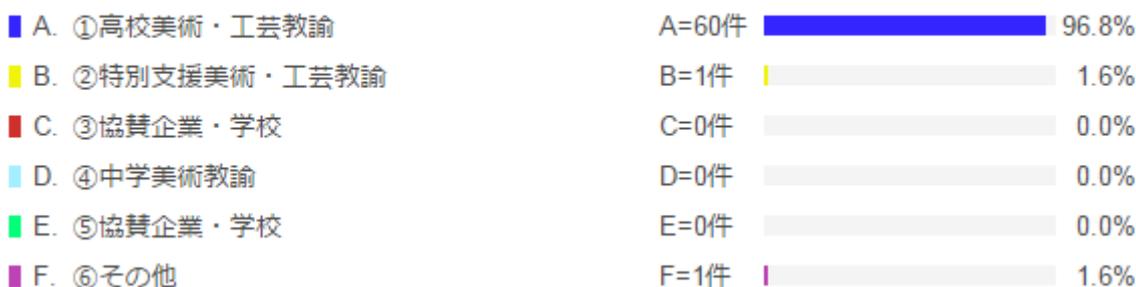


性別をお答えください。



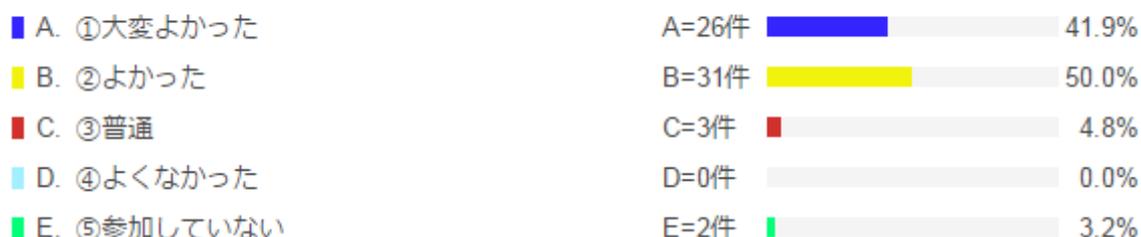
2

所属についてお尋ねします。



3

土屋公雄氏の記念講演はいかがでしたか？



4 今大会にどのような目的を持って参加されましたか。

- 今回の大会内容と重なる「高校教育に美術・工芸がなぜ必要か」「どうあるべきか」を考える材料を集めたかった。自分の考えている疑問点を、他の先生方がどのように考えていらっしゃるのか知りたいと思い参加。
- 「学校における」美術工芸教育の生き残りについて、参加者がどう考えているか
- 何か新しい考えを求めて。これからの美術教育の方向性を全国の先生方がどのように考えているか、知りたいと思って。
- 特に美術工芸教育を校種を超えて組織的に結び改善しようとする粘り強い取り組みに関心があり、期待して来ました。
- 各都道府県で、どのような授業をされているのか知るため。
- 各都道府県の美術教育の現状、目的、目標について学びたい、知りたい。

- 今後の自分の授業へ何か取り入れることを学びたいと考えて。
- 自分の授業をこの後どのようにつくっていくか、子どもたちと美術を通してどのようにかかわっていくのかを、自分の体験だけでなく、参加したみなさんから探りたい。
- 自分の中に少しでも取り組めるものが得られたらよいと思って、全国の先生方の取り組みは刺激も受けるしメリットが多い。2学期に向かっての勇気をいただきに来ました。
- 自分自身の不勉強さを改善するため
- 授業研究、他県の先生方、美術工芸の先生方との交流で、意欲を奮い立たせたかった。
- 授業研究における悩み相談や、様々な授業を知りたかった。
- 授業を良くしたい。・美術工芸の問題についてもっと考えたい。・千葉大会への準備
- 発表するぞ！吸収するぞ！と思ってきました。
- 長く参加していなかったので、様々な先生方の発表を見て学びたかったから。
- 研修
- スキルアップ
- 交流、勉強、次回の発表に向けて。
- いろいろな情報を得るため
- 情報交換、研究
- 情報交換及び美術教育の現状についての課題の確認
- 情報収集
- 全国での授業実践を知る。
- 全国の取り組みを知るため
- 全国の授業実践を見聞きし、日々の授業に生かしたいと思って参加しました。
- 全国の美術教育の様子を知ること 自分の授業力・教師としての質の向上
- 全国美工研に参加したことがなかったので、とにかく勉強したくて参加してみました。
- 他県との情報交換など
- 他県の実践を知りたかった
- 他県の先生方の意見を聞いて、視野を広げたいと思った。
- いろいろな先生方の研究発表をきくため。あとおいしいお酒と魚をいただくため！
- 今まで本県からはあまり参加してこなかった。反省から、とにかく参加してみようと話し合っ、とにかく来てみました。
- 埼玉大会についての準備、視察・全国の先生方の新しい、または卓越した取り組みを知りたかったから。
- 次大会（千葉大会）運営の参考とする。・美術、工芸教育の現状を学ぶ。・今後の自身の美術教育活動に生かす。
- 地元県で開催される時の予備知識として。・自分自身の勉強のため
- 2017年の全国大会開催に向けて、開催県の準備・運営に関する情報収集を目的としている。
- 5年後に予定されている全国大会に向けての視察
- 大会の内容を知る為。新しい価値観に出会う為。
- 会場運営の視察
- 開催県準備として、様々な情報をいただくため。
- 次年度開催県役員
- 次年度千葉県が開催県なので、いろいろと学ばせていただくために参加しました。
- 今後の授業の参考に。本県で全国美工研を開催する祭の参考に。
- 全国の先生方の研究発表 大会視察（開催が近いので）
- 研究、視察
- 高知でお世話になっている先生が功労者表彰を受けるのを見届けるため。・初めて行く福井を楽しむため。
- 研修内容を本県の美術、工芸研究会で伝達するため。大会内容を共有し、研究材料とするため。
- 自県に大会の内容を報告するため。
- この大会そのものが、進化しているかを見たかった。

- 発表の拝聴、大会運営の様子
- 美術、工芸教育について、他県の先生方の取り組みを知りたいと思った。数年後の静岡大会に向け、様子を知りたいと思ったから。
- 美術に求められる「学力」とはどのようなものか。
- 美術教育を取り巻く諸問題についての情報交換
- 普通の授業に何かもう一つ加えられることはないか、また自分で4年かけて課題研究をやってみたいと考えて参加しました。他県の先生が授業にどのように取り組まれているのか知るために参加しました。
- 福井ユニットが作られるまでの経緯や、どのような利用のされ方をしているかについて知りたかった。
- 福井をはじめ、他府県の状況を知る。
- 福井県の取り組まれているユニットについて、具体的に知りたかった。分科会に興味がありました。
- 福井県の美術教育の現場に教わりたいことがあったため。
- 文科省の動きに対して、各県や現場の対応や、温度差等を肌で感じることを目的でした。
- 来年度の開催県として 全高美工研の仕事をかねて

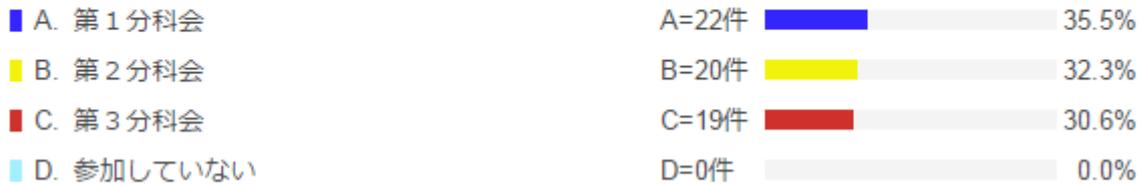
前問の目的は達成されましたか。



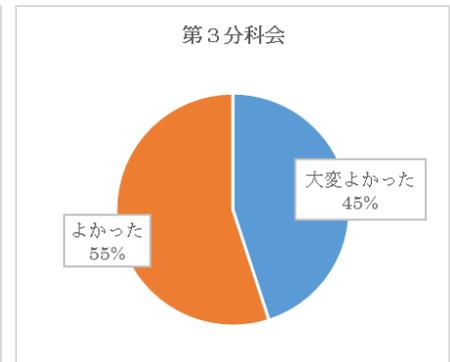
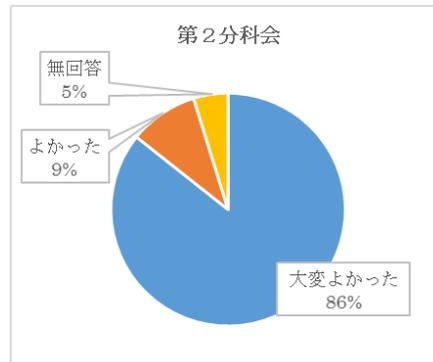
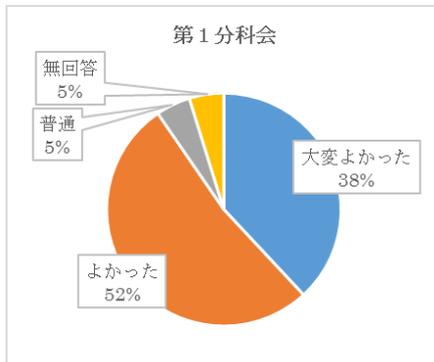
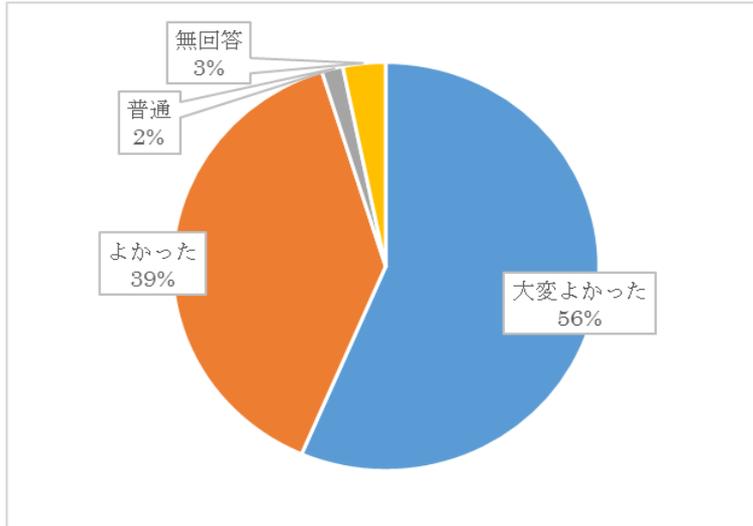
- これまでの大会では多くの発表を据えることが優先され、問題点を明確化したり、それについての講義を深めること、特に参加者一人一人への働きかけがあまり考えられていないことが多かったように思います。秋田大会から、そこに開催者の意図的工夫が強く感じられる試みがあり、今回は更に充実した徹底した参加者の活動を促すものになったと思います。まるで、美術の授業のようです。個との授業実践に加え、今後の大会運営方針にも是非引き継いでほしいと考えております。
- ディスカッションがあり、(時間制限がありますが) 開かれた個(←まさに)オープンでとても好感が持てました。
- ディスカッション形式で、各県の多くの先生の声を聞くことができました。
- とてもわかりやすい内容でした。
- とても学びました。来て良かったです。
- 最近、特に課題に思っていたことだったので、とても参考になった。
- 自信が持てた。美術教育に関わることで、自分にも返ってくるものがある。学べることが大きい。
- 自分の勉強不足を痛感しました。ここへ来る前にもっと勉強、研究をして臨むべきだと感じた。
- 自分の目指すもの、必要とするものを再認識できたと感じたため。
- 授業内容というより、美術科目の現状やあり方といった内容がメインでした。
- 秋田の後の福井という形で、良い形で研究の場につながっていると感じました。
- 大変勉強になりました。
- 答えを性急に出す必要はないが、かなり具体的に考えることができた。
- 福井県の先生方の工夫(特にユニット)について知ることができた。また人数がそれほど多くない中で協力して準備していることが伝わってきた。
- 本当にありがとうございました。
- 本当に参加してよかったです。美術工芸についてみなさん本当に真剣に深く考えていらして刺激を受けてばかりでした。みなさんの発言に何度も感動しました。とても素晴らしい大会だと思いました。
- 毎年来たいと思ったし、明日から「もっとこうしたい」というものをつかむことができた。(何となくのイメージだけど)

5

分科会についてお尋ねします。
参加された分科会はどれですか。



発表の内容（全国公募）はいかがでしたか。



第1分科会

- グループディスカッション、充実した時間でした。
 - グループでのディスカッション、いろいろな状況、意見が聞けて良かったです。
 - どの取り組みも勉強になりました。
 - バリエティに富んでおり、刺激を受けました。
 - 若い先生が、この生徒たちならば“できる”と可能性を信じて実践している前向きな姿勢が見ていて好感を持ってました。ディスカッションをして、うちは底辺校だから・・・とそれを理由に作業的な作品制作されている先生たちの声もあり、ちょっと残念だったときに、お2人（2日目）の研究発表をきいて、ホッとしました。
 - 多くの具体的実践に触れられ、大変勉強になったし、今後の展望も明るく思えた。
 - 発表の中身、ジャンル設定～とか良かったです。時間が少ない中で、よくまとめられた発表に頭が下がりました。
 - ディスカッションの形式は、他県の先生方とも情報交換でき、とても有意義だった。しかし、質問や発表内容についてももう少し検討が必要だったと思う。
- ◇ 秋田大会での野村先生の発表の続き・・・を期待していたが少し違っていたのが残念でした。

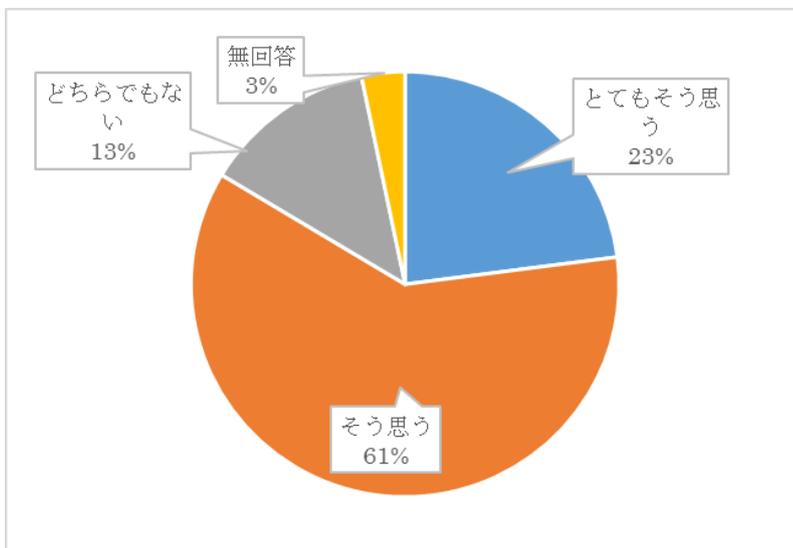
第2分科会

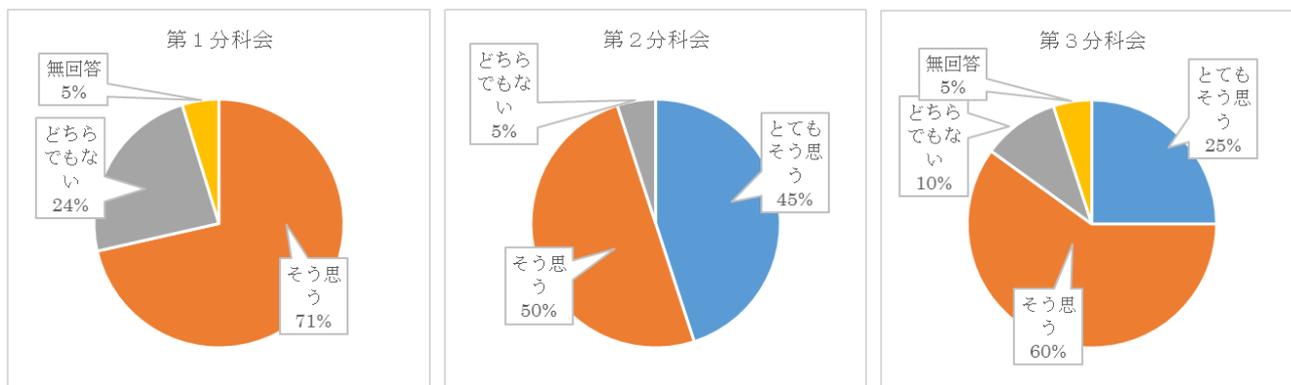
- アクティブラーニングを意識した先進的な取り組みについて知ることができた。
 - そこまで活動範囲を広げられるんだ！という発表ばかりで正直圧倒されました。
 - どの発表も刺激的でした。設定されていたテーマも学校の中だけにとどまらない、美術の可能性を探るもので、興味深かったです。
 - プレゼンがすべてわかりやすく、内容はもちろんですが、発表のカタチがすばらしかった。
 - よくねられた内容の濃い展開であったと思います。
 - 全体的に、授業という視点が、結果的に少なかったとは思いますが、その後の個人的な協議で話し合うことができました。
 - 素晴らしかったです。特に長野の斉藤先生と宮城佐々木先生の発表が印象的でした。助言者の大橋先生のお考えも大変勉強になりました。
 - 非常に実践的な事例を知ることができ、また、自分の授業に活かせる手がかりがつかめた。
 - 他県の取り組みは刺激的です。
 - 地域貢献されている活動が実に刺激になりました。自分の学校でできることを探っていきたいと思います。
- ◇ 発表内容について、発表者に質問できる機会があると良かった。

第3分科会

- HP等で今までよく見ていた先生と会うことができ、新たなイメージをもつことができた。
 - 急な変更をお願いしてしまい、ご迷惑をおかけしました。しかし、丁寧に対応して下さい本当に嬉しかったです。
 - 現状を知ることができた。いろいろとびっくりしました。
 - 黒木先生の発表は、毎回刺激的。
 - 他（都）県における学校の現状、カリキュラムの違い、それによる美術教育のアプローチの違いなど、新鮮に感じられました。また、異校種を含めた組織の連携の取り組み、その問題点など、今後の参考としていきたいです。
 - 他の多くの先生方の意見を聞いて、考えを深めることができた。
 - 内容がしっかりしており、口頭発表の内容が特によかったと感じます。
 - 発表時間を上手に取って頂き、内容と共に、発表として密度の濃いものでした。それぞれの発表内容も重複することなく、多面的な組み立てで主催者側のきめの細かい配慮が感じられました。
 - 来て良かったです。
 - 2日目の内容が特によかったです。
- ◇ 時間が短くて、まとめるのにたいへんだったと思う。司会が非常にむつかしかったでしょう。意見を時間制限1人1分以内とか必要

“『高校教育に美術、工芸教育がある理由』にこたえる授業研究の方向性”を共有できましたか？





第1分科会

- ディスカッションで出た意見を村上先生がうまく整理して、全体で共有することができたと思う。
- 共有になったかどうかはよくわかりませんが、参加者それぞれの中にある「理由」をそれぞれが内省して確認できたのではないのでしょうか。
- 決定的に美術が必要であると測れる「ものさし」的なものが明確でないので、長きにわたる課題となってくると思います。でも絶対美術教育は意味のある物だと声を上げていかない限り教員数、授業数も減らされていくのだと感じました。
- 人文学系軽視、芸術教育に対する軽視は、今後もまちがいに顕著になる。時間数も、正規教員も縮小されることになる。芸術や創造力は必要だといいいながら、それを本当に理解できる人が年々と減少している。古典芸能や伝統工芸、美術館なども、消滅してゆくのではないか？学校の同僚ですら1年2年前に比べても芸術に理解を示す教員が少なくなっている。どうすればこのような傾向に歯止めが効くのか。何かできることはないのか？と思うのですが。
- ◇ もう少し時間がほしかった。まとめきれない内に共有の場に出す形になりがちだった。
- ◇ 提案はあったが、共有でき、深めることが十分でいただろうか。

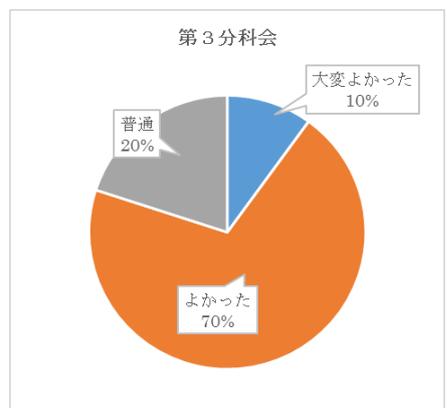
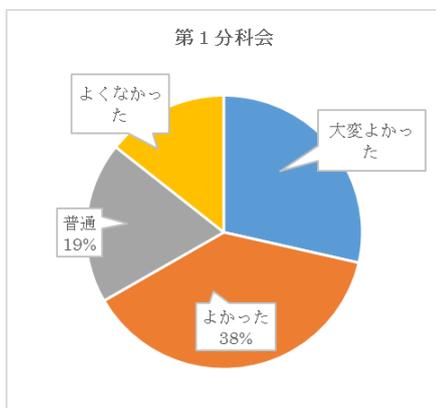
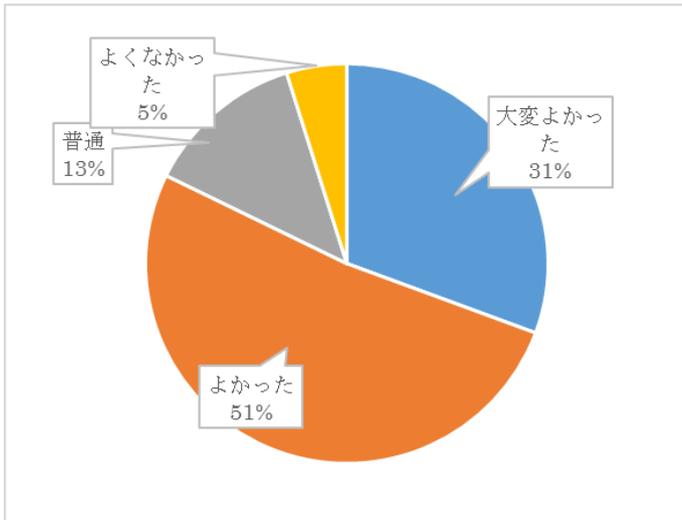
第2分科会

- 高校生の発達段階でないと、他者や社会に目を向けることができない。納得でした。
- 中学の先生から、中学の発達段階ではできない内容を高校でしかできないと言われていました。
- 美術、工芸は楽しい授業なんや！ということが再認識できた。
- 文章（冊子）だけでは伝わりづらい、想いや感覚を感じられました。
- 方向性を共有するために、分科会でみなさんの発表、全体ディスカッションが特によかった。自分自身の考えを再確認することができた。みなさんの発言にとっても胸が熱くなった。
- これはちょっとまだまだ自分としてもわからない。ただ、やや、とっかかりがいくつかみえてきたようにも思う。
- ◇ 深めるにはもう少し時間が欲しいところです。

第3分科会

- 刺激を頂けた！ もっと本気を出そうと思った。
- 様々なタイプの学校の現状、先生方の努力を身をもって感じることができました。ありがとうございました。
- 実際の授業に活用していくために、再度自分で考え、構築していこうと思います。
- 他教科、他校種、他業種とつながる必要性を問われていました。この大会にも、ぜひ多教科、多校種、多業種に参加してほしい。でも普通にやったら参加してもらえないだろう。そこがデザインだろうな。
- 自分がまだ答えのヒントを見つけ出していない。
- 大会終了後に、アンケート内容を分析して、外にむけて公開してほしいと思いました。
- ◇ 工芸について、もう少し、具体例を交えての話があればと感じました。

グループディスカッション・全体ディスカッションという分科会形式はいかがでしたか。



第1分科会

- いろんな校種のいろんな生徒の話が聞けました。改善していける糸口が見つかったと思います。
- 画面に付箋で書いていく形式も良いと思いました。
- 個々の6名でしっかりディスカッションしてもらおうという計画はよかったです。時間配分や細かい時間設定、全体としてまとめるーという所に難しいところはあると思いますが、それも仕方ないところだと感じました。
- 小グループから全体へ、話題を共有する、共有できることは良かったです。アクティブラーニングという言葉をよく耳にするようになった今、教師自身もアクティブにならないと、と思います。質疑応答の時間も少しあればと思いました。
- まとめないスタイルなので、緊張せずに話げできた。6人なので個人的な話げができる。さっき班でしゃべったことを代表者としてではなく全体の中で言うのは難しいんだなと感じました。照明が暗く、静かすぎてしゃべりにくいとは感じました。
- とまどいでしたが、大変有意義でした。ですが、発表者に対して質疑や意見、感想を伝えられたかったです。
- ◇ グループディスカッションでは、自分の意見を述べ合うだけでなく、意見交換する時間が欲しかったです。
- ◇ グループディスカッションにおける発問シートに答えにくかった。
- ◇ グループディスカッションの時間をもっともちたい。全体ディスカッションでは意見が出しにくい。
- ◇ 時間的に少しせわしなかった。
- ◇ 初めて聞く内容なので、質疑応答がないまま意見を求められても困る。1人80秒よりも全体で何分のほうがよいのでは？

第2分科会

- とても綿密に用意され、充実した分科会でした。宮城県の佐々木先生の発表は、すばらしかったです。
- 多くの方とお話しし、ご意見を聞くことができ、大変良かった。大会の目的、方向性がはっきりと提示されていたので、取り組みやすかった。充実していた。自分の勉強不足で、ディスカッションの質問が難しく感じてしまったのが残念。もっと勉強しなくてはと思った。

- みなさんの意見が聞けて良かったです。一部の先生の意見だけのケースが多いので良かったです。
- 今までは発表者と聞く側だけの方向性だけでしたが、聞く側の横のつながりをもてたのはすごいと思いました。
- 自分のグループや、他のグループで出た意見を聞くことができた。
- 2日間で深く話すことができました。
- 新たな視点に気づくことができました。
- 会の進め方も参考になった。
- 言葉にすることで、考えを深めることができましたし、他の先生方のご意見が伺えて、勉強になりました。
- 時間が短く、その分明確に言いたいことを整理するよう心がけられた。また、他の先生の意見で自分の意見の強化ができたり、有意義でした。
- ・ 声を出す、目を見る、表情を見る、スバラシイです。よかったです。80秒ずつはちょっと短い・・・質問によっては、全員発表（口頭）、書いたものを見せ合う、挙手するなど工夫が欲しいです。→質問の形式、ディスカッションのテーマとしては◎ですが・・・記入も5分、少しタイヘンです。
- ◇ 6人グループだと、時間が短いと感じた。4人グループくらいでもよいかと思った。
- ◇ 1人80秒というのが話を盛り上げたくても時間で切られるというのがもったいないと思うことがあった。
- ◇ 発表者の方への質疑応答は欲しいと思いました。詳しく伺いたいこともあったので。

第3分科会

- 他県の先生方の思いや考えを実際に聞くことができ、大変刺激を受けた2日間でした。今回感じたことを持ち帰り、茨城の美術教育の充実に生かしていけるよう、努めていきたいと思いました。
- いろいろな考えを知る機会となりました。
- 楽しくて、もっと時間が欲しかったです。
- 近くの席の方のお話をきけて、自分の考えと比較することができてよかった。
- 短時間でも深まるなと思った。でもつかれた。大変。意識の高い先生方が集まっているから成立するんだろうなと思った。
- ・ 初日のみ紙の質問の文がわかりにくかった。また、2つディスカッションがあるが指示がわかりにくかった。ディスカッションはとにかく、よい機会であれしかったし、学びも多かった。
- ・ 発表を聴いて、自身の考えをまとめるのに役だった。・グループディスカッションの時間が区切られていたために、十分深める時間がなかった。
- ・ 島根に出来ること、本部でも考える。
- ◇ 全体的に忙しい印象でした。もう少しじっくりお話をきけたらと思いました。
- ◇ 発表者に質問する場は欲しかった。
- ◇ 発表者の先生方をもう少し聞きたかった。

6

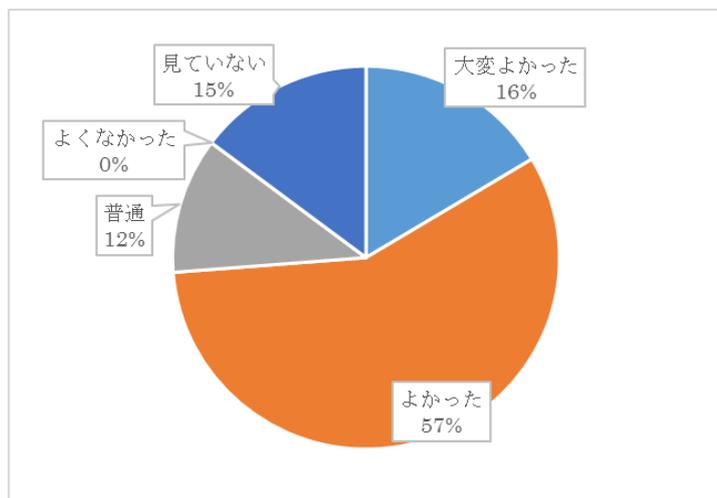
「福井県高校生選抜作品展」はいかがでしたか。



- 生徒さんの作品を通して、先生方の実践を感じることが出来、感動しました。
- 生徒の作品があると、言葉とは別の力があって良いと思いました。
- 高校生らしい感性を見ることができました。
- ・ いろいろなジャンルの作品がありよかった。ただ作品数がもう少し多くてもよかったと思います。もう少し作品を見たかったです。

- ◇ しかし、もう少したくさんの作品が見たかったです。
- ◇ もう少し、作品を見たい気もしました。
- ◇ もっと作品数が多くなれば嬉しいです。
- ◇ もっとたくさん見たい。立体の作品も見たい。
- ◇ デザインが多かった。 絵画の作品がもう少し多いといいなと思いました。
- ◇ 立体造形も見たいと思いました。
- ◇ 作品のレベルが低いと感じました。
- ◇ 授業作品なのか、美術部の作品なのか、そういった説明があると良いなと思った。
- ◇ 選抜作品よりも県内の授業の作品や授業の様子がえられる展示が今回の研究大会にはふさわしかったのではないかと思います。 高文祭とは違うので、部活色がない方がよかったかも。
- すみません、このあとみます。
- 帰りに拝見します！
- 見る時間がなかなか捻出できなかったのが本当に残念です。 なるべく帰る前に拝見したいです。
- 都合により、日帰りでの参加になったので、見られなかったのが残念です。
- 申し訳ありません

7 「授業・教材・ユニット研究発表展示」はいかがでしたか。

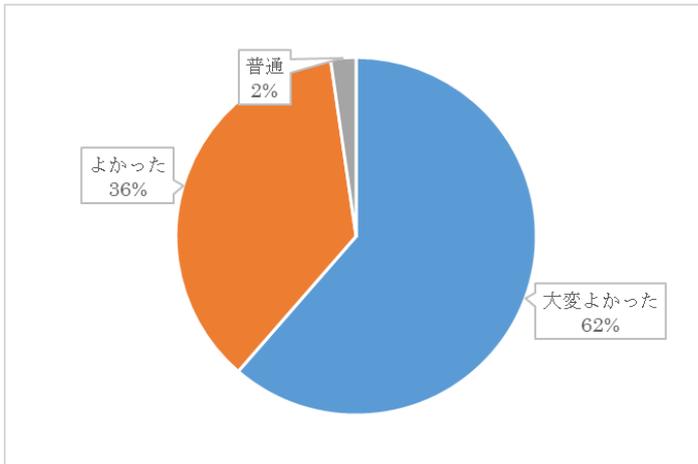


- 福井県の細やかな取り組みを知ることができ、良かったです。
- 福井県の取り組みが俯瞰できた。同校種による即時的な共有に関しては多くの課題があるが、小中高の連携（継続的指導）・大量退職後の教員文化の足跡として5～10年後に効果を発揮すると思います。加えて、このユニットへの取り組みを通して、教員間の共通言語の構築がされると思います。とても良い取り組みでした。
- これらのことをまとめようとした姿勢が素晴らしいです。 あとはいかに広め、活かしていくかなのだと思います。
- システム自体が発展の余地があり、発想を刺激されました。 全国レベルで発展していけたらいいなあと思います。
- すばらしい取り組みです。今後のさらなる進化が楽しみです。
- 形式が統一されているのが、よくできてるなあ、と思った。
- 色々な実践を拝見出来て良かったです。
- ユニット研究は美術教員の負担が大きく、現在の業務に加えて行うことは難しい取り組みであると感じました。資料を残していくことも大切ですが、それに加えて協議（美術教員間の）を行っていく活動の方がよいのではないだろうかと思ったところです。
- ◇ 授業をした後の生徒の作品について、ねらいに対してどうだったのか、もっと、たくさんの作品を比較できると良いと思いました。
- ◇ 出展が少なかった。
- ◇ 同じ様式なのがユニットの良いところだと思いますが、展示としてみると、全部が同じに見えて、ちょっと関心を持ちに

くいかないとしました。

- ◇ エスカレーターからの道案内板があると尚わかり易かった。参考作品をもっとみたかった。
- ◇ エスカレーターの位置から見つけにくかったため、少し探してしまいました。
- 説明を聞かせていただいて興味を持ちましたが、見て回る時間が十分にとれなかったのが残念でした。
- 少し拝見しましたが、ゆっくり見たいです。同上（見る時間がなかなか捻出できなかった）です。
- すみません、このあとみます。

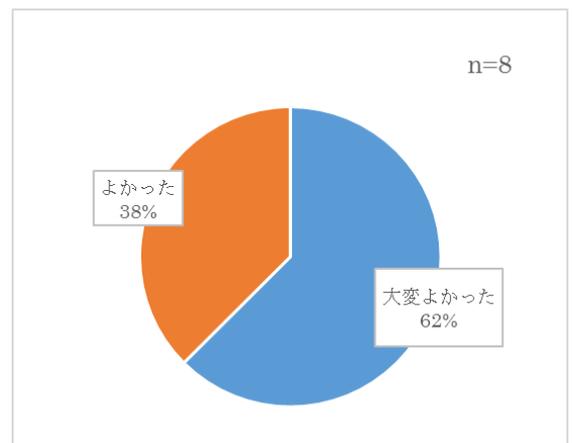
8 情報交換会（20日）はいかがでしたか？



- 部会ごと、開催の近い県で配慮して席を配置していただいたおかげでより詳しいお話を聞くことができました。
- 司会の先生方のテンポもよく、楽しい会でした。特に同じテーブルについての方々との交流が深まりました。
- 左義長がとてもよかった。新鮮な驚きがあった。
- ホルン&サクスの演奏、伝統芸能など、素晴らしかった。サバすしもとても美味しかった。
- 福井のおもてなしがよく感じられた。
- 多くの先生方と美術教育について話すことができ、他県の状況や取り組みを知ることができた。秋田と福井の地酒が大変おいしかったです。
- おいしいお酒をありがとうございます。
- いろいろな県の先生方と、お話しできて良かったです。
- 他県の先生方と意見交換ができた。
- 楽しく過ごさせていただきました。準備等、お疲れさまでした。
- ◇ あっという間でした。じっくり話をしたかったので、伝統芸の余興はオープニングに見たかったかなと。冷房が寒かったですね。
- すみません、締め切りすぎて定員がいっぱいでした。すごい！ですね。
- おみやげが・・・
- ありがとうございました。
- 発表が一日目だとさらに良かった。

9 越前伝統工芸研修はいかがでしたか。

- 直接、職人さんからお話が聞け、組合の理事員さんには業界全体の動きについても伺うことができました。
- 工房で詳しいお話を聞けて大変勉強になりました。貴重な体験でした。資料をいただけるとなうれしいです。
- 伝統の仕事をまぢかで見ることができて、すごく良かったです。道中の自然も集落の雰囲気も最高です。
- とても丁寧に話ししていただき良かったです。時間がもう少しあ



るとなお良かったかと思えます。全体会の会場で福井県の伝統工芸を紹介していただけるとゆっくり見られたかもしれません。

- ◇ うるしの里ツアーにお弁当がついていることを事前に知りたかったです（美味しかったです）。
- 申し込みが遅れたので無理でしたが、和紙には興味がありました。

10 大会全体を通して何かお気づきの点、ご意見等がありましたら、ご記入ください。

- 少ない先生方が協力して最高の大会をつくっていただいて、本当にありがとうございました。
- とても大きな経験になったし、“同じ感覚”を持っている先生方と会うことは学校内か（都道府県）の中でもとてもムズカシイことなので、うれしく思います。また、いろいろな想い（考え方）を持っている先生方もたくさんいらっしゃる事がとても良い刺激になりました。（来年度開催県ということもあってか）時間（プログラム）に余裕がなかったので、WS や生徒の作品展、先生方の作品展をゆっくり見れなかったのが残念です。
- 大変お世話になりました。おかげさまで充実した研修で実りあるものとなりました。
- 明るく開放的な会場が、とても心地よかったです。こういう施設があってもいい。
- おつかれさまでした。とてもよかったです。
- 心のこもった気持ちの良い大会でした。福井県の先生方のご尽力に感謝しています。ありがとうございました。来年千葉でお待ちしています。
- とても充実しており、時間が短く感じました。来年是非、千葉にお越し下さい。福井県の意志を引き継ぎたいと思います。
- 時間がなく書き切れずすみませんでした。バスの中で書いたので字も汚く申し訳ありません。福井の先生方本当にご苦労様でした。素晴らしい大会でした。来年よかったですら千葉にいらしてください。
- 1分科会の最後にある先生が発言された内容「先ほどの発表、自由研究は評価の点で難しい？工芸の「陶芸」を美術でやっているのはおかしい。工芸の領域を侵す、このような公の場で発表するのは」という意見が突然なされた。どのような意見を発表するのも自由だが、発表者の発表内容に結果的に制約を加えることになったり、自粛することにならないように祈る。なぜ陶芸したらダメなのか？反論する余裕のないときの発言はよくない。表の部分だけが暴走しないことを願います。
- ◇ もう少しフリーの時間をいただくとブースや展示をじっくり見て回れるかと。
- ◇ 各分科会の発表者がわからなかったため、選ぶときに困りました。
- ◇ 分科会＝プロジェクターのため暗くて、手元の文字など見にくかった。ディスカッションの時は明るくして欲しかった。
- ◇ 第一分科会でも発言しましたが、テーマ（話し合いの方向性）として「高校教育に美術、工芸教育がある理由」とある割に、美術に偏った発言ばかりで、非常にがっかりしました。また、発言した際、美術の中でも工芸を扱っている学校云々の話でお茶を濁される形となり、さらに残念です。美術と工芸は別ものであり、一緒にしてはならないのです（文科省判断でもあります）。全国規模の大会でそのように初歩的なこともわからないコーディネーターにもがっかりしました。調査官の東良先生にも、叱咤激励され、残念でなりません。
- ◇ 記念公演が長くなったのに、午後の開始が予定通りだったので、昼食時間が短くなり、忙しかった。延びた分、午後のスタートを遅らせてもよかった。
- ◇ 時間が押した場合、臨機応変にタイムスケジュールを変更するなど、考えてほしかった。
- スタッフのみなさん、おつかれさまでした。
- 後日、メールで詳しく御連絡いたします。ありがとうございました。
- 福井のみなさん、ありがとうございました。お疲れさまでした。
- 福井のみなさん、本当にありがとうございました！ 秋田、森久樹
- 福井の先生方、今までの準備から今日まで、大変だったことと思います。充実した大会でした。ありがとうございました。
- 福井の先生方、大会の準備、運営、本当にありがとうございました。前後数年に及び計画だったと思います。運営してみないとわからないご苦労がものすごく多かったと思います。ありがとうございました。全国大会としての表の部分と、本音の部分（裏）表→文科省から県市から教育長が来賓で来られたり、全国大会として内容の結果が問われるのは仕方ないところですが、アクティブラーニング、指導要領の方向にそった、方向にすべてが収束してゆくのも仕方ないとも思い

ますが、そうではない部分、それだけではない部分の所も内包できる、部分も大切に（あるんだと思いますが）全国の先生方がいろんな意見を持ちながらも、連携して、よりよい方向を志向している一、本音でかたまっている。お上や社会の動向に対しても、場合によってはしっかりと評価したり、批評したりできる、こんなんでえーのかということもできる組織であると良いですね。

（有志の美術展「BJ美術準備室 回顧展」等について）

- BJ展、たいへんおもしろかったです。
- BJ展、とても興味深かったです。美術の教員である以上、制作したり、美術楽しいおもしろいというところを生徒に“姿”で見せていくべきだと思います。
- 見応えありました。
- ・ 展覧会は素晴らしかったが、会場内の案内表示がなく、場所がわかりづらかった。
- BJ展行きたかったです。
- 興味があったのですが、時間がなくていけませんでした。